

# 令和4年度 環境省事務提要に基づく 関東近県及び全国との比較

環境省事務提要（動物行政の全国集計）の公表がありました。

都道府県の収容等状況や比較分析を取りまとめましたのでご確認ください。

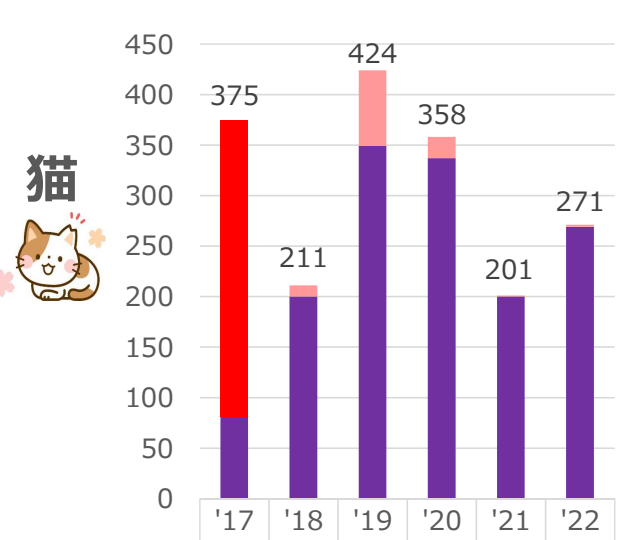
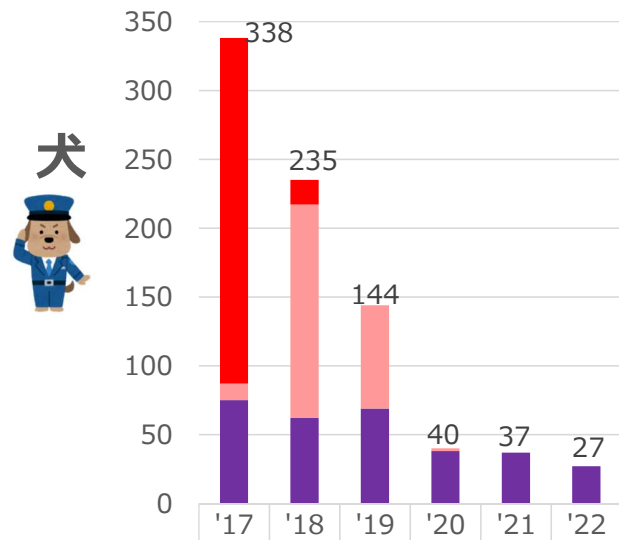
なお、集計に当たって、各政令市等は所属する都道府県に全て合算し、都道府県別の頭数としております。

※例）茨城県 = 茨城県 + 水戸市

（参考）「環境省事務提要まとめ（資料2別紙）」

## 2022年度 本県における犬猫の殺処分ゼロの維持について

本県（県動物指導センター及び水戸市動物愛護センター）における2022年度犬猫の殺処分頭数が確定し、譲渡適正があると判断した犬猫、並びに譲渡することが適切でない犬についての殺処分ゼロを維持しております。



■ 殺処分	251	18	0	0	0	0
■ 譲渡不適による殺処分	12	155	75	2	0	0
■ 収容中死亡	75	62	69	38	37	27

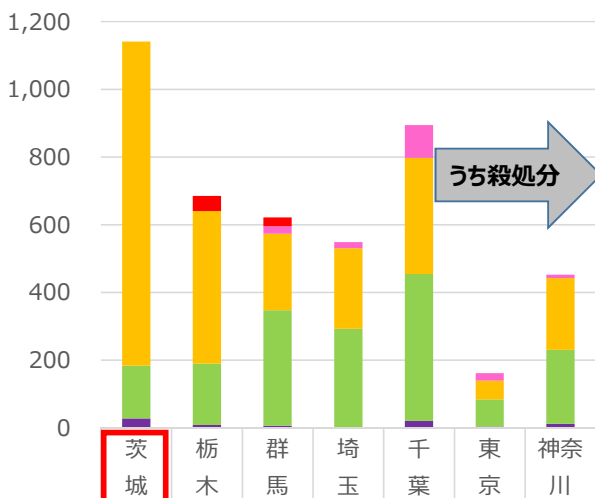
■ 殺処分	294	0	0	0	0	0
■ 譲渡不適による殺処分	0	11	75	21	1	2
■ 収容中死亡	81	200	349	337	200	269

※水戸市動物愛護センターにて、収容時の負傷が著しく安楽死処分

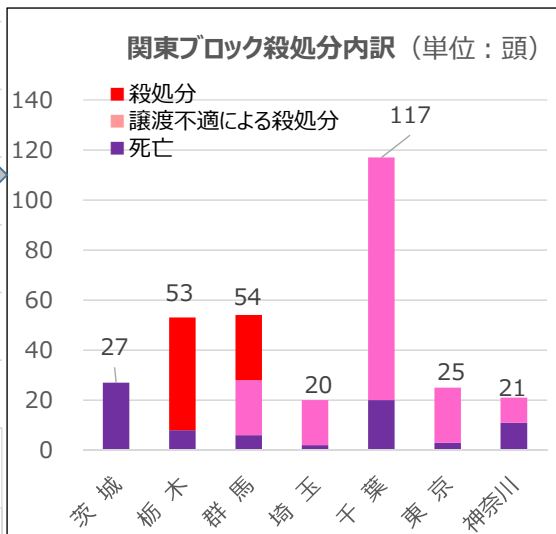
## 2022犬の処分状況 比較（関東ブロック）

### 2022 関東ブロック収容犬処分内訳

（単位：頭）



	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川
殺処分	0	45	26	0	0	0	0
譲渡不適による殺処分	0	0	22	18	97	22	10
譲渡	958	451	226	238	343	56	212
返還	156	181	341	290	434	80	219
死亡	27	8	6	2	20	3	11

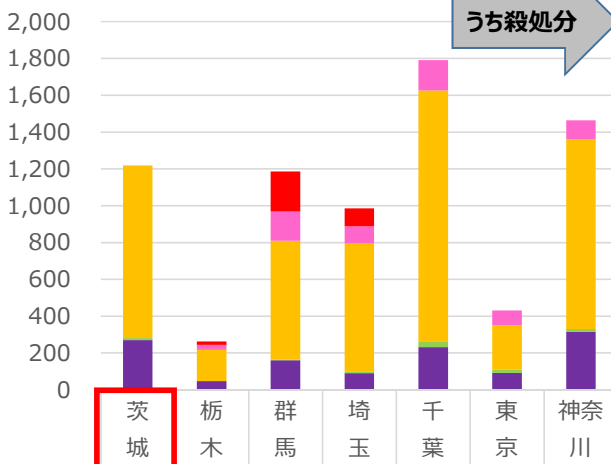


◇本県の処分頭数は最も多いにも関わらず、いわゆるゼロゼロ（殺処分ゼロ、譲渡不適殺処分ゼロ）を唯一達成

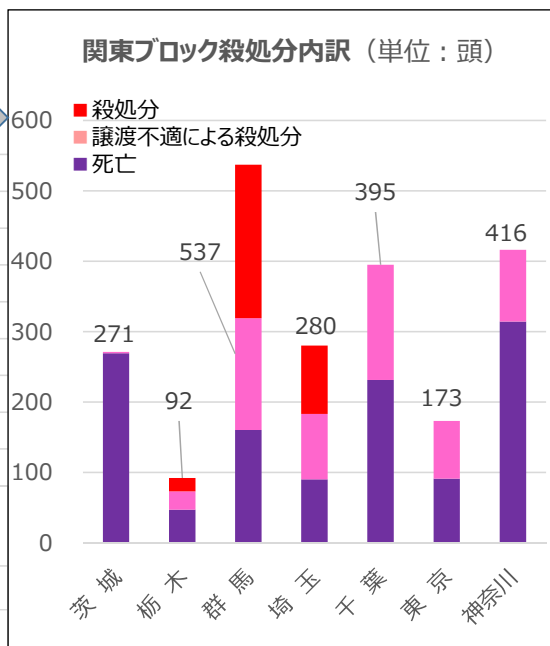
## 2022猫の処分状況 比較（関東ブロック）

### 2022 関東ブロック収容猫処分内訳

（単位：頭）

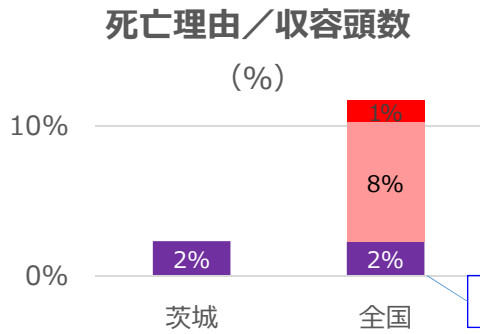


	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川
殺処分	0	19	218	97	0	0	0
譲渡不適による殺処分	2	26	159	93	164	82	102
譲渡	934	170	645	695	1366	239	1031
返還	12	0	4	10	29	19	16
死亡	269	47	160	90	231	91	314



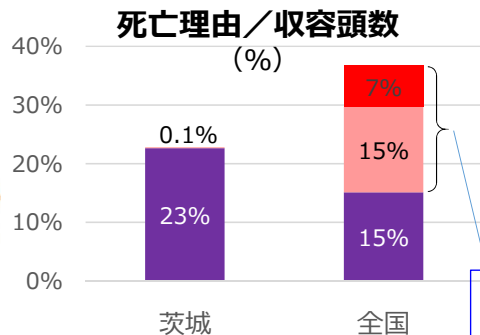
◇処分頭数の少ない自治体と比較しても極めて少ない  
◇一方で、収容中の死亡が多い？  
⇒次頁にて全国と比較

## 2022犬猫の処分状況 割合による比較（全国）



	茨城	全国
殺処分	0	282
譲渡不適による殺処分	0	1,801
死亡	27	517
收容頭数	1,155	22,916

◇全国の收容中死亡の割合とほぼ同等

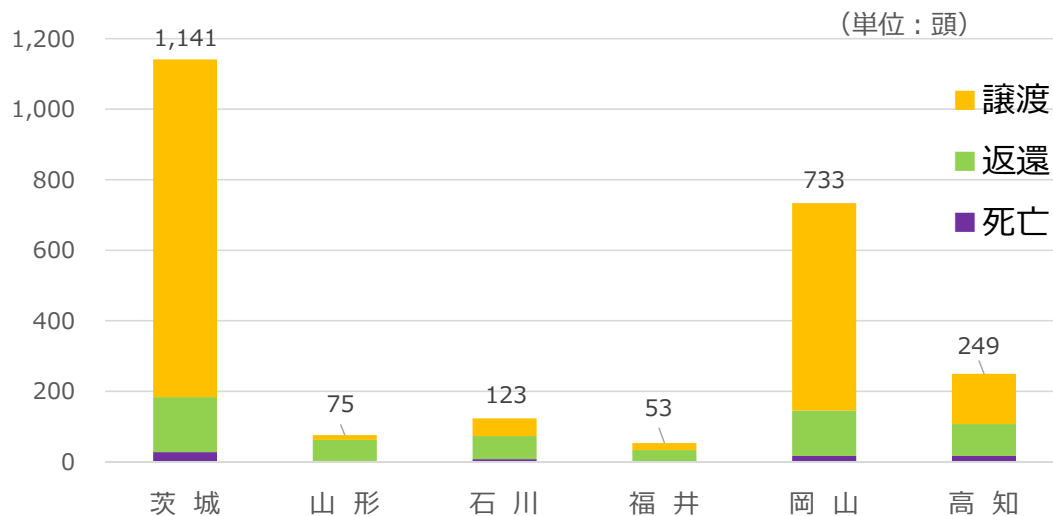


	茨城	全国
殺処分	0	2,831
譲渡不適による殺処分	2	5,788
死亡	269	6,022
收容頭数	1,188	39,502

◇このうち幼弱個体が約3分の1を占めており、約7%が子猫である  
⇒本県は哺育・譲渡を行っているため收容中死亡が多め（7%を加味するとほぼ同等）

## 2022犬の処分状況（全国）

### 犬殺処分ゼロ6県別の処分内訳



◇殺処分・譲渡不適殺処分ゼロを達成している全国6県を比較



# 茨城県動物愛護推進員 (第10期) の応募状況について

(正式な委嘱は令和6年4月1日になります)

## 第10期の応募状況

- ・ 委嘱期間：令和6年4月1日から  
令和9年3月31日まで
- ・ 応募総数：84名（女性65名、男性19名）
- ・ 応募区分：新規24名、継続60名
- ・ 地域別：

地域	応募者数
県北	34名
県南	32名
県西	8名
鹿行	10名



# 第10期の応募状況

- ・市町村からの推薦者：14名／84名
- ・協力可能な活動内容（全数84名）

活動内容	動物愛護啓発	犬猫の保護・譲渡	自治体と連携した活動	災害時ボランティア
人数	84	65	72	42
割合	100%	77%	86%	50%

項目として特別に聴取したのは今期が初めて

- ・動物関連の資格所有者（38名／84名）

資格	獣医師	愛玩動物看護師	ペット災害関係	愛玩動物飼養管理士	家庭動物管理士	ペットシッター・介護士	訓練士	その他トリマー等
人数	1	4	3	19	2	8	1	9

※同一の方が複数の資格を所有している場合もあります

## 第9期との比較について

## 第9期との比較（男女比）

第9期：男性18%、女性82%



第10期：男性23%、女性77%

※わずかだが男女数の平準化に改善が認められた。

	第10期	第9期
男性	19名	16名
女性	65名	74名

## 第9期との比較（住所地域別）

推進員のなり手不足が課題であった鹿行地区において5名から10名に増加した。

	第10期	第9期
県北	34名（9名）	39名（9名）
県南	32名（8名）	37名（7名）
県西	8名（2名）	9名（0名）
鹿行	<b>10名</b> （0名）	5名（0名）

カッコ内は男性の内数

## 第9期との比較（新規・継続の別）

新規応募割合：第9期 31%

第10期 29%

※新規応募者の人数及び全体に占める割合ともに減少した。

※第9期の約8割の男性が継続した。

	第10期	第9期
新規	24名（6名）	28名（7名）
継続	60名（13名）	62名（9名）

カッコ内は男性の内数

約8割が継続

## 第9期との比較（市町村推薦者数）

鹿行地域の推進員増は当該市町村と地域ボランティアとの関係構築が進んだ結果と考えられる。

	第10期	第9期
合計	14名（1名）	11名（1名）
県北	2名（0名）	3名（0名）
県南	5名（1名）	7名（1名）
県西	2名（0名）	1名（0名）
鹿行	<b>5名</b> （0名）	0名（0名）

カッコ内は男性の内数



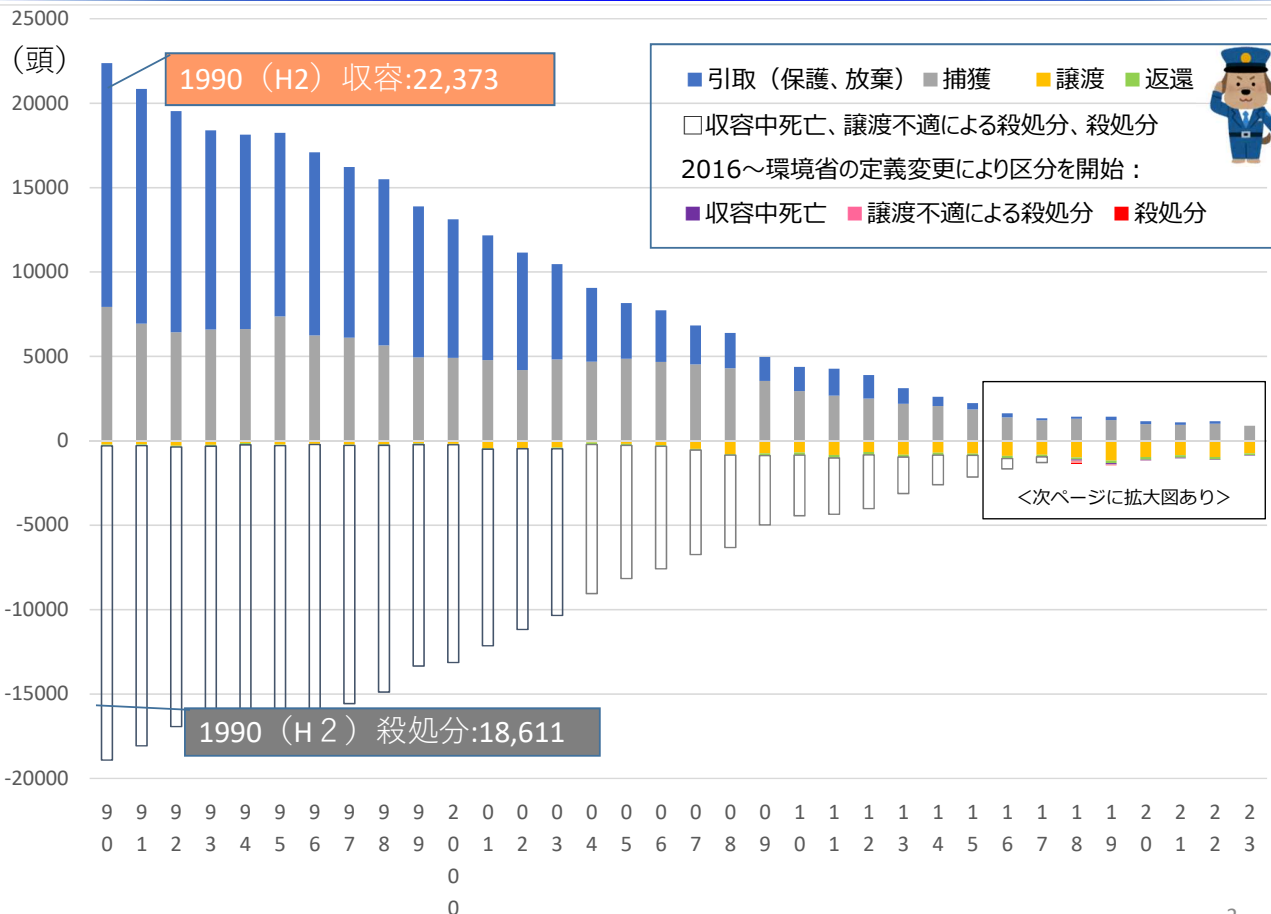
# 資料 3

## 令和5年度における 犬猫収容頭数等の現況等について

- P.2 1990～2023年度 犬の収容・処分頭数の推移
- P.3 2016～2023年度 バランスシート（犬の収容・処分頭数の推移の詳細）
- P.4 2021.10～2023.12 動物指導センターにおける収容犬の推移
- P.5 R3～5年度 成犬の収容頭数の推移
- P.6 R3～5年度 成犬の譲渡頭数の推移
- P.7 R5.12までの犬猫収容頭数の実績、年度予測及び令和4年度との比較

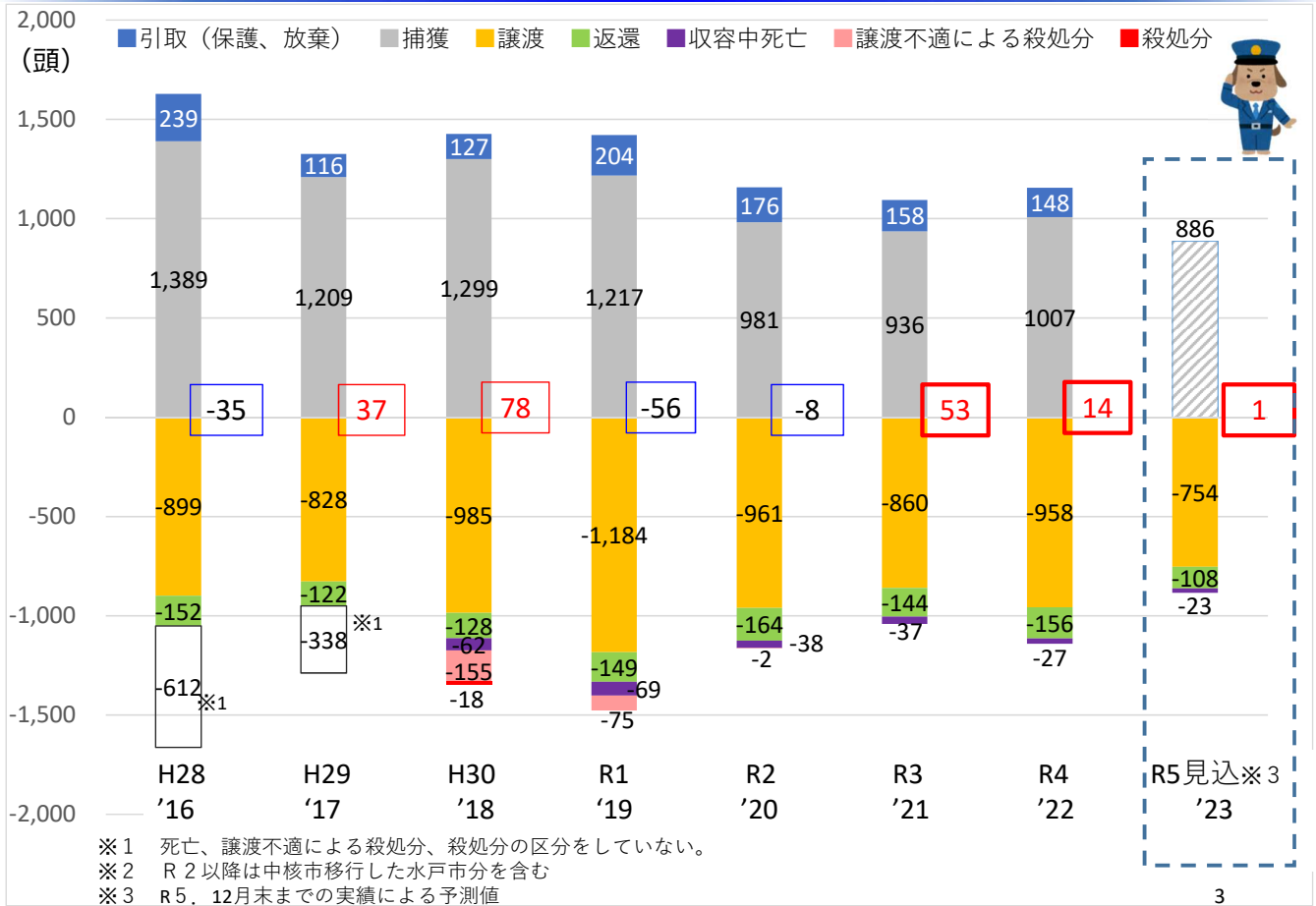
1

### 茨城県における犬の収容・処分頭数の推移

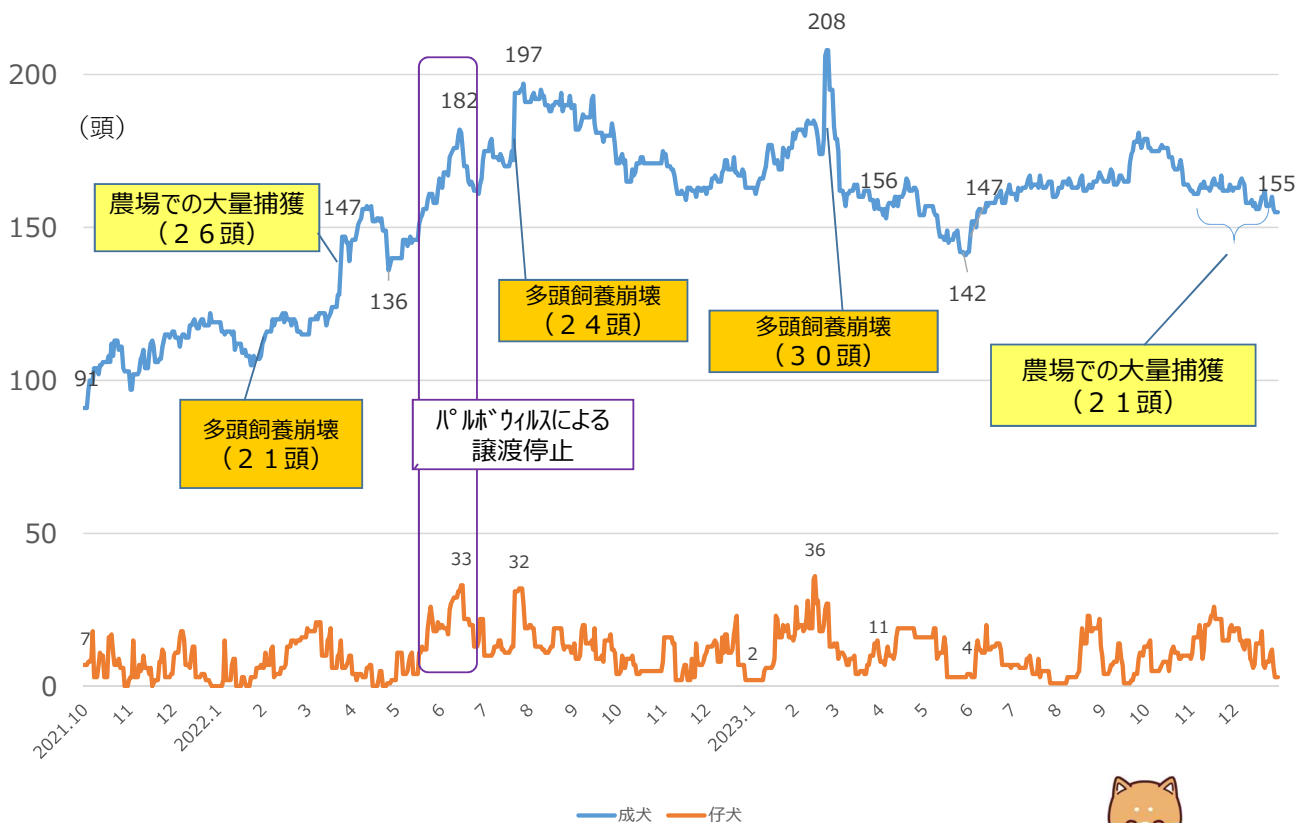


2

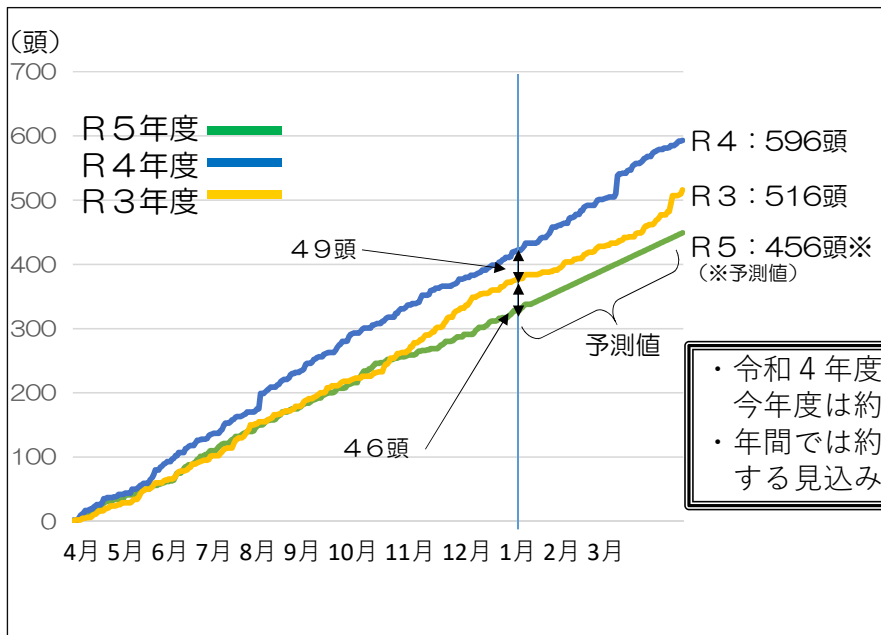
## バランスシート 犬の部の推移



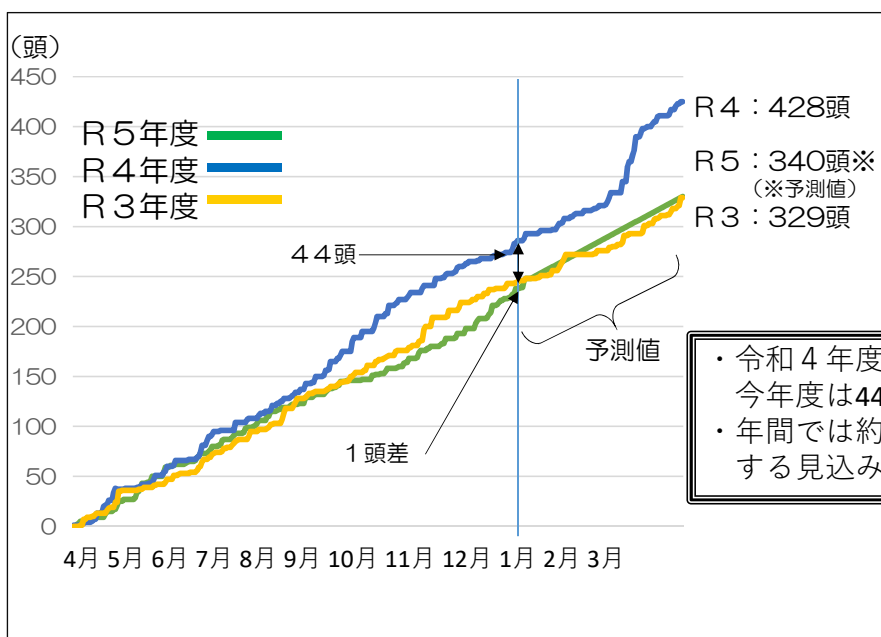
## 動物指導センターにおける収容犬の推移 (2021年10月~24年1月)





動物指導センターにおける**成犬のみ**収容頭数の推移（R3～5比較）



動物指導センターにおける**成犬のみ**譲渡頭数の推移（R3～5比較）



## 令和5年度収容頭数等の予測及び令和4年度比較

			令和5年12月まで	令和5年度 (単純予測)	令和4年度
 犬	成犬	収容頭数	342	456	596
		返還頭数	70	93	137
		譲渡頭数	255	340	428
		収容中死亡	14	19	23
	差引		3	4	8
	子犬	収容頭数	267	356	466
		譲渡頭数	271	361	464
		収容中死亡	3	4	4
差引		▲7	▲9	▲2	
 猫	成猫	収容頭数	99	132	123
		返還頭数	1	1	12
		譲渡頭数	64	85	118
		収容中死亡	31	41	29
	差引		3	4	▲36
	子猫	収容頭数	667	889	954
		譲渡頭数	543	724	749
		収容中死亡	123	164	206
差引		1	1	▲1	

※水戸市は含みません

※年度を繰り越す犬猫がいるため、差引がマイナスになる場合があります。